



令和4～6年度は、各県に公募を行った上で、以下20県（市町村）を選定、実施した。
また、令和6年度自走型で1県（1市町村）で実施した（岡山県瀬戸内市）

【注】左から実施日順。R5は能登半島地震の影響により4県が開催中止。

令和4年度	都道府県名	岡山県	群馬県	大阪府	愛知県	長野県
	実施市町村	矢掛町	前橋市	吹田市	美浜町	上田市
	市町村の人口規模	1万人	33万人 (中核市)	37万人 (中核市)	2万人	15万人

令和5年度	都道府県名	広島県	岡山県	熊本県	岐阜県	静岡県	愛知県
	実施市町村	広島市	瀬戸内市	八代市	関市	島田市	岡崎市
	市町村の人口規模	120万人 (政令市)	3.6万人	12万人	8.5万人	10万人	38万人 (中核市)

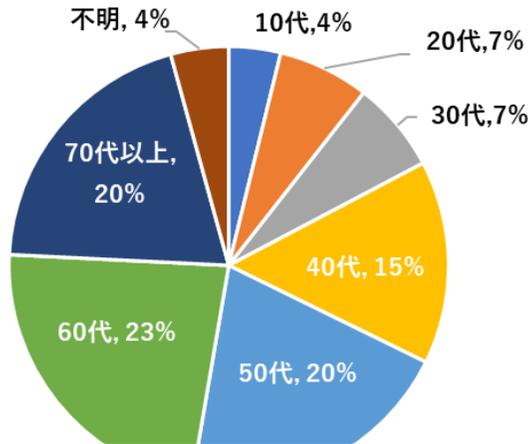
令和6年度	都道府県名	福岡県	青森県	岡山県	長野県	群馬県	愛知県	三重県	熊本県	石川県
	実施市町村	嘉麻市	八戸市	倉敷市	箕輪町	館林市	豊明市	いなべ市	宇土市	穴水町
	市町村の人口規模	3.3万人	22万人	48万人	2.5万人	7.4万人	6.8万人	4.4万人	3.5万人	0.7万人



年度	開催地域	受講者数	修了者数 (2日間以上参加者)	名簿登録者数
令和4年度	5地域	259	219	192
令和5年度	6地域	256	238	211
令和6年度	福岡県嘉麻市	39	37	35
	青森県八戸市	57	52	52
	岡山県倉敷市	51	51	43
	長野県箕輪町	39	38	35
	群馬県館林市	51	47	37
	愛知県豊明市	51	50	48
	三重県いなべ市	53	48	46
	熊本県宇土市	45	36	41
	石川県穴水町	43	28	21
	岡山県瀬戸内市	21	17	15
合計	21地域	965	861	776



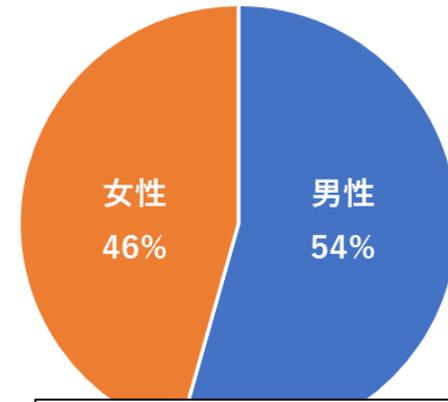
受講者年齢層



【年齢層】
約4割が60～70代以上
次いで50代、40代と年
代が低いほどが少ない

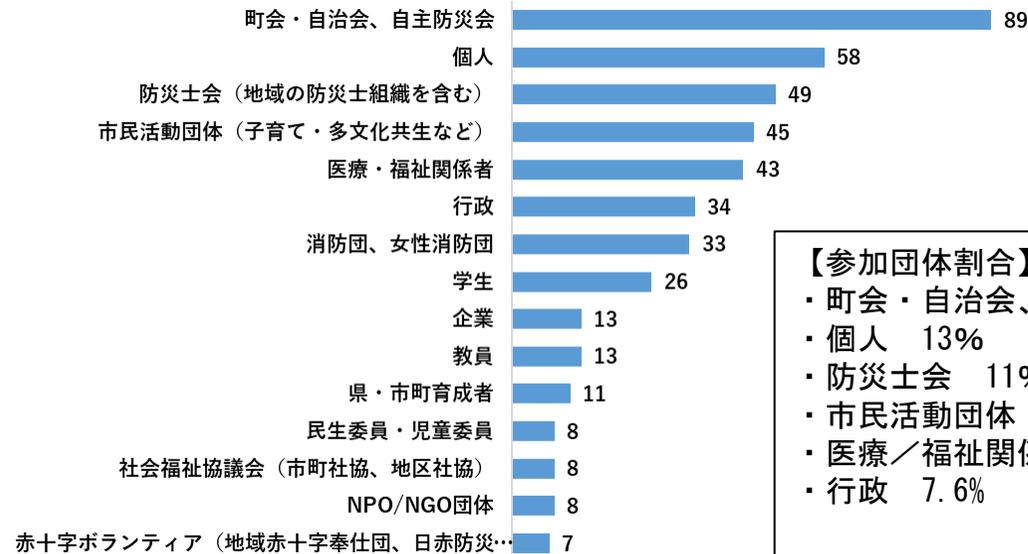
男女比

n=445



【男女比】
ほぼ同等

受講者の所属



【参加団体割合】

- 町会・自治会、自主防災組織 20%
- 個人 13%
- 防災士会 11%
- 市民活動団体 10%
- 医療／福祉関係者 9.6%
- 行政 7.6%

他



研修先ごとの属性

	受講者特性
嘉 麻 市	男性24名、女性13名 嘉麻市内だけではなく、近隣の荒尾市、大野城市等の防災士会からの参加が多かった。
八 戸 市	男性23名、女性34名 青森県女性防災リーダーの方を含む多くの女性が参加した。弘前大学の学生の参加もあった。
倉 敷 市	男性30名、女性21名 自主防災組織だけでなく、学校関係者、消防団、防災士、市民活動団体等からまんべんなく参加者が集まった。
箕 輪 町	男性21名、女性18名 地域の自主防災会の参加者他、箕輪町職員や民生委員の参加があった。
館 林 市	男性36名、女性13名 自主防災会からの参加者の他、防災士連絡会や近隣市町村の社会福祉協議会からの参加があった。
豊 明 市	男性26名、女性25名 会場となった藤田医科大学の学生が約2割を占めた。その他、トヨタ自動車やあいち防災リーダー会からの参加もあった。
いなべ市	男性24名、女性26名 いなべ市消防団からの参加が約2割を占めた。その他、近隣市町村の行政職員が多く参加した。
宇 土 市	男性24名、女性23名 宇土市防災士会から参加者が多く集まった。その他宇土市婦人会や宇土市女性消防団から女性の参加者が集まった。
穴 水 町	男性18名、女性25名 穴水町消防団からの参加が約2割を占めた。その他、教員や地元の福祉施設から参加者が集まった。
瀬戸内市 （自走式）	男性16名、女性5名 防災関係者への個別声掛けではなく公募で参加者を集め、自主防災会だけでなく教員、高校生、自治会等の参加者が集まった。